



製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	Quick Taq™ HS DyeMix
製品コード	DTM-101
会社名	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	ライフサイエンス事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	PCR実験用のマスターミックスとして使用される。

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
有害性	有害性の調査が十分ではないので、取扱いには注意する。
物理的及び化学的危険性	常温では特に危険性はないが、160℃の引火点を持つグリセロールを含む。
特有の危険有害性	特になし
GHS分類	分類基準に該当しない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
	酵素	(EC 2.7.7.7)
	タンパク質(マウスモノクローナル抗体)	—
	グリセロール	56-81-5
	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	77-86-1
Quick Taq™ HS DyeMix	酢酸カリウム	127-08-2
	デオキシアデノシン三リン酸	1927-31-7
	デオキシシチジン三リン酸	2056-98-6
	デオキシグアノシン三リン酸	2564-35-4
	デオキシチミジン三リン酸	365-08-2

危険有害成分

化学名又は一般名	グリセロール
別名	グリセリン
含まれるパーツと含有量	Quick Taq™ HS DyeMix 4%
化学特性	CH ₂ OHCHOHCH ₂ OH
CAS番号	56-81-5
官報公示整理番号	2-242
化審法:	公表
安衛法:	公表
化学物質管理促進法	該当しない
指定化学物質(政令番号)	
労働安全衛生法	該当しない
通知対象物(政令番号)	
毒物劇物取締法	該当しない
毒物・劇物(政令番号)	



製品安全データシート

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分洗い流す。
目に入った場合	目に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
消火を行う者の保護	消火は風上から行う。 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	目、皮膚への接触、吸入を避ける。回収の際は適切な保護具を着用し、風上から行う。
環境に対する注意事項	可能な限り回収する。回収後多量の水を用いて洗い流す。
除去方法	可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。接触しないよう注意して使用し、接触した際はできる限り除去する。取扱い後は手、顔などをよく洗い、うがいをする。
注意事項	局所排気内で取り扱う。
安全取扱い注意事項	取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
保管	
適切な保管条件	-20℃で保管する。数日間であれば、4℃で保管する。
安全な容器包装材料	本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	換気設備を設置する。
許容濃度	グリセロール(ミスト)
日本産業衛生学会 (2005年版)	設定されていない
ACGIH (2001年版)	10mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	必要に応じてマスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて実験用の被服等を着用する。



製品安全データシート

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色

臭い

pH

引火点

爆発特性

比重(密度)

溶解性

常温で青い液体、-20℃では固体

ほとんど無臭

6.0~9.0

水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後、160℃の引火点を持つグリセロールが残留する。

常温では爆発性はない。

1.0~1.2

水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性

避けるべき条件

危険有害な分解生成物

-20℃で安定

特に常温で危険な反応性はない。

火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤

グリセロール酸化分解物など

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性・刺激性

人体に対する毒性は少ないが、多量に経口摂取すると腹痛、下痢などをおこすことがある。

経口毒性：ラットLD₅₀値：約12600mg/kg

高濃度の溶液は、皮膚を軽度に刺激することがある。

ラビット 500mg/24H；MILD

12. 環境影響情報

移動性

残留性・分解性

水溶性あり、水系に拡散する。

グリセロールは分解性良好な物質である。タンパク質や酵素は良分解性と考えられる。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

汚染容器・包装

おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。本製品の低濃度廃水は活性汚泥処理を行うことができる。

大量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上

航空

国内規則

陸上

海上

航空

輸送の特定の安全対策及び条件

非危険物

非危険物

消防法の規定に従う。

非危険物

非危険物

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法

グリセロールは危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体



製品安全データシート

16. その他の情報

参考文献

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社（2000年）

「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社

（2000年）

制約事項

ACGIH(7th, 2001)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。